

岸本尚毅著

虚子を詠めば俳句の本質に近づける！  
虚子入門の決定版！

# 『高濱虚子の百句』

- 新書判並製カバー装 ●223頁 ●初句索引付 ●定価=1,575円(本体1,500円+税)



作句のこころを  
読み解く  
**7月22日刊行予定!!**  
必読・虚子の珠玉百句。

## 遠山に日の当たりたる枯野かな

雪のない地方の平凡な冬景色だ。

枯野が広がり、遠くの山に日が当たっている。

景はそのまま一枚の絵におさまる。

遠景と近景の取合せだが、構成した感じはない。

記憶の中から呼び起こした景のようでもある。

切れ字のかなは、句の中心である枯野に向けて句全体を収斂する効果を持つ。

日の当たる遠山は希望の灯のようでもあるが、それは手の届かぬ遠さにある。

言葉の上では叙景に終始した句だが、  
安らぎとも諦めともつかない静かな情感を湛えている。

注文書



ふらんす堂

〒182-0002 東京都調布市仙川町1-15-38-2F  
TEL 03 (33326) 9061 FAX 03 (33326) 6919  
URL: <http://furansudo.com/> E-mail:info@furansudo.com 振替〇〇一七〇一一一八四一七三

貴店名

冊

ふらんす堂

T E L 0 3 (33326) 9061  
F A X 0 3 (33326) 6919

俳句のこころを読み解く。

岸本尚毅著『高濱虚子の百句』

定価: 1575円  
(本体1500円+税)

ISBN978-4-7814-0578-0 C0095 ¥1500E